

## 石川県立図書館の沿革と現状

## 1. 沿革

明治12年  
(1879年)

兼六園内の県勸業博物館内に図書室を設置<前身>  
・前田家蔵書3万余冊を中心に公開 (前田家蔵書は後に移譲)

明治45年  
(1912年)

県立図書館 開館(兼六園内)  
・大正5年に記念館、食堂等、10年に書庫増設

大正7年  
(1918年)

県下全体の図書館利用率が全国一  
・人口千人あたり利用者が664人(県内26館)

昭和2年  
(1927年)

中田邦造氏が館長就任(~昭和15年)  
・児童図書館外貸出を開始、県図書館協会を設立  
・県内各地に読書学級(青年)、青少年文庫(小卒者)を設置  
※昭和18年に都立日比谷図書館長に就任し、本を疎開させた

昭和23年  
(1948年)

隣接館の火災で類焼・雑誌・新聞・図書約1000冊を焼失  
七尾、小松分館を設置

昭和25年  
(1950年)

10地域に分館設置、自動車文庫巡回開始  
・昭和26~28年にも3館の分館を設置  
・自動車文庫の本格実施(専用車)は昭和38年から

昭和41年  
(1966年)

現在地に新図書館が開館  
・社会教育会館内に社会教育センターと併設  
・新館開館を機とし、翌年、全国図書館大会を県内で開催

昭和57年  
(1982年)

増改築工事が完成  
・収蔵能力増強、会館内に国際文化交流センター設置  
分館10館廃止(市町村立図書館の整備進展により)

平成9年  
(1997年)

「石川県図書館情報ネットワーク」稼働  
・県内の図書館間で目録等の情報共有を開始

平成13年  
(2001年)

横断検索システムが本格始動  
・当初、県内8図書館・1大学→現在、36図書館・4大学参加

平成14年  
(2002年)

「加賀は天下の書府」展開催  
・加賀藩ゆかりの古典籍約300点の展示等を実施

平成15年  
(2003年)

社会教育センターが移転  
・書庫増強、1階にライブラリーサロン設置

平成25年  
(2013年)

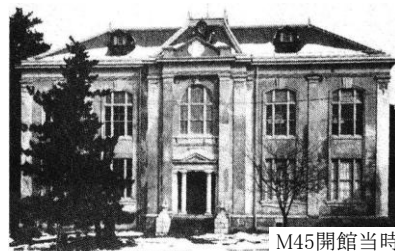
デジタル版「石川県史」、延宝金沢図をHP公開  
・現在、大型絵図49点を含め、414点を公開

平成27年  
(2015年)

県議会(平成27年第4回定例会(9月))において、知事が、現図書館は耐震基準を満たしておらず、老朽化や狭隘化が著しいことから建替えざるを得ない旨を表明

平成28年  
(2016年)

県議会(平成28年第1回定例会(3月))において、石川県長期構想の策定に係る議案が可決  
※関係の記載:「県立図書館を金沢大学工学部跡地に移転・建替し、本県の中核図書館として機能や施設の充実を図ります。」



M45開館当時



兼六園内位置

児童閲覧室  
(明治末-大正)

中田邦造氏



S41開館当時

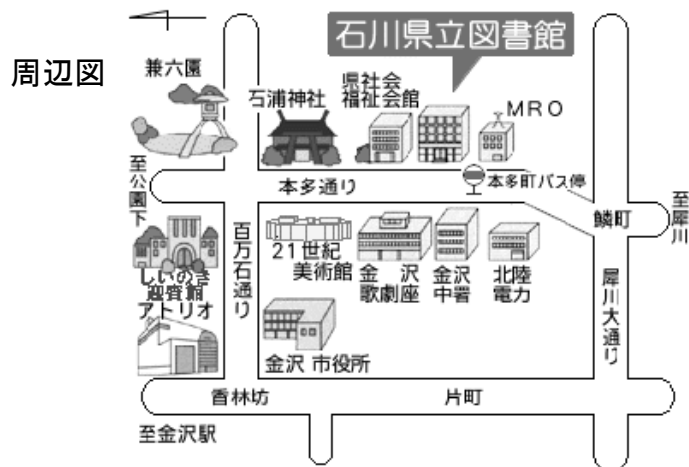
S57増改築後  
(現在の姿)加賀は天下の書府展  
(県立音楽堂で開催)現在の横断検索  
の画面

## 2. 施設・蔵書等の現状

### (1) 全体概要

|                 |   |
|-----------------|---|
| 構造              | 地上4階、地下2階（4階は福祉総合研修センターと共用）   |
| 建築面積            | 2,029㎡  |
| 延床面積            | 9,456㎡（うち図書館専用床面積 8,461㎡）   |
| 駐車台数            | 32台   |
| 収蔵能力            | 約85万冊   |
| 蔵書冊数<br>(H28.3) | 約81万6千冊（うち開架10万6千冊）<br>（この他、特殊文庫等約5万冊、雑誌・新聞・古文書を別途管理）   |
| 来館者数            | 237,153人（H27年度実績 ※H26年度は246,635人）   |
| 貸出冊数            | 140,090冊（H27年度実績 ※H26年度は144,477冊）   |
| 施設の利用環境         | 増改築工事・社会教育センターからの転用により、小規模な部屋や段差が多く、来館者と職員の動線やスペースが混在しているため、利用環境が悪く、サービス提供、セキュリティ、バリアフリー面で一部支障がある |
| 職員数             | 43名（うち司書有資格者24名）  |
| 開館時間等           | 開館時間 平日9:00～20:00、土・日9:00～17:00<br>休館日 月末整理日、国民の祝日・休日、年末年始、特別整理期間<br>開館日数 314日（平成27年度）            |

### 位置・公共交通



### 公共交通(バス)

- ・本多町バス停(最寄)からすぐ ※金沢駅から日中1時間に約4本
- ・香林坊(金沢中心部で多くのバスが停車)から徒歩15分

## (2) 他の都道府県立図書館との比較

(H26年度日本図書館協会統計、石川県調べ)

|        | 石川県立   | 都道府県立<br>47館平均 | 過去20年間で<br>新規に開館した<br>7館平均 |
|--------|--------|----------------|----------------------------|
| 建築面積   | 2,029㎡ | 4,503㎡         | 6,617㎡                     |
| 延床面積   | 8,461㎡ | 10,409㎡        | 16,478㎡                    |
| 駐車台数   | 32台    | 91台 ※          | 207台 ※                     |
| 収蔵能力   | 85万冊   | 111万冊          | 187万冊                      |
| 蔵書冊数   | 80万冊   | 100万冊          | 117万冊                      |
| 年間来館者数 | 25万人   | 38万人           | 68万人                       |
| 年間貸出冊数 | 14万冊   | 39万冊           | 70万冊                       |

※…図書館専用の区分ができない館を除く



# [参考] 特徴のある資料(貴重書等)

## 《概要》

- 現図書館の前身である勸業博物館図書室は、前田家の蔵書を中心として利用に供していた等、県立図書館は加賀藩所蔵の資料を一部引き継いでおり、加賀・能登の国絵図をはじめとした大型の絵図類、藩校の蔵書等も所蔵している。  
また、石川県庁から移管された近世・近代資料も所蔵しており、なかでも加賀・能登の寺社由来は知られている。
- 開館(明治45年)に先立って購入した本県出身の国文学者、藤岡作太郎氏の旧蔵書をはじめ、様々な石川県ゆかりの研究者等のコレクションを所蔵している。
- 開館から100年以上の歴史を持つことから、古くからの石川県関係の統計書・年鑑があり、多くの利用がある。また、当館に事務局を置く石川県図書館協会では、かつて資料集の編纂刊行も行っており、『加賀能登郷土図書叢刊』(全56冊)は、現在も石川県の郷土史を学ぶ上の基本的な文献として利用されている。



新世界地図帳「ATLAS NOUVEAU」  
1692年

## 《主なもの》

- 稀覯書 きこうしょ:世の中に流传している部数がきわめて少なく、まれにしか巡り合うことができない本  
・新世界地図帳「ATLAS NOUVEAU」

1780年11月6日オランダ商館長ティチング(1745～1812)から 福知山藩主朽木昌綱(1750～1802)に贈られた世界地図帳。前田家に伝来し、のち当館に保管されるに至った。朽木昌綱の庇護を受けた蘭学者前野良沢(1723～1803)が研究した際の付箋も残されている。



延宝金沢図  
延宝年間(1673-1681)

- 絵図

### ・延宝金沢図

縮尺1/600の分間図で作成され、現存する金沢城下町図では最大。加賀藩では、拝領屋敷地を明らかにするため、万治3年(1660)、寛文7年(1667)、延宝年間(1673～1681)の3回このような城下町図が作成され、県立図書館は寛文七年金沢図と本図を所蔵する。2点を合わせた研究で、城下町金沢の発展過程が明らかになった。県指定文化財。



能登国四郡田目録案  
承久3年(1221)

- 文庫

### ・森田文庫(693点)

幕末から明治にかけて活躍した石川県の郷土史家、森田柿園の旧蔵書。加越能の歴史を研究するための基本的な史料がそろっている。なかでも「北徴遺文」は、加賀・能登・越中の三カ国の寺社・諸家に伝来する文書・記録等を書き写した文書集として貴重。

### ・他の県指定文化財:「伊藤家文書(3273点)」「山口家文書(3572点)」

- 近代資料

### ・地籍図(石川県庁より保管換135点)

明治期の地籍編纂事業のなかで作成され、現在も公図と位置づけられている。研究の他、現在の土地家屋調査でも多く利用されている。

- 郷土資料

- ・石川県統計書 明治13,14,17年～平成25年
- ・地元新聞(マイクロフィルム・縮刷版)明治26年～現在
- ・市町村広報 昭和46年頃～現在
- ・伝統工芸に関する資料(戦前からの出版物など)



引き札(広告)  
明治24年